

東日本ユニオン よこはま

JR 東日本労働組合
横浜地方本部
発行者/ 松田 和秀
編集者/ 教育・広報部

横浜線（東神奈川～八王子間）ATOS化に伴う 業務執行体制の見直しについて

横浜地本は5月19日、横浜支社より「横浜線（東神奈川～八王子間）ATOS化に伴う業務執行体制の見直しについて」の説明を受けました。

1. 実施内容

- (1) 横浜線東神奈川～八王子間をATOS化し、同線の運行を東京総合指令室で一元管理する。
- (2) 橋本CTCセンターは相模線（茅ヶ崎～橋本間）の運行管理及び橋本駅信号業務を行う。

2. 関係箇所 橋本CTCセンター

3. 教育・訓練 必要な教育・訓練は実施する。

4. 実施時期 平成27年7月12日

◆変更後の標準数

箇所名	長	助役	輸送	計
橋本CTCセンター	1	4（現行5）	6（現行13）	11

◆提案された主な議論

組合：横浜線のCTC業務を東京総合指令室に移管させるさいのメリットは？

会社：現在横浜線と相模線は橋本CTCで運行管理し、横浜線と京浜東北線の乗り入れしている東京総合指令室一元化することによりスムーズな対応が可能となり、安全・安定輸送ができる。

組合：技術継承ができていないのではないのか？

会社：現在東京総合指令室室内でシミュレーター等を使用して訓練・教育を行っている。

組合：各職場に負担の無いようにしていただきたい。また、橋本CTCの要員については？

会社：助役1徹1日勤⇒1徹 輸送4徹⇒2徹に変更となる。

組合：移動に伴う面談については、本人の希望に沿うように行って頂きたい。

会社：異動については、従来通り行っていく。